

② 報告

共通理解を深めるためには、報告も大切な議題の一つです。

多くの地区では、次のような点を報告するようにしているようです。

- ①各活動の進捗（実施）状況
- ②一部委員のみ出席した会議内容
- ③一部委員のみ参加・協力した（サロンなどの）活動内容
- ④全国・県民児協等の研修会参加報告
- ⑤主任児童委員活動

定例会の最後に、前月に実施した活動や出席した委員会等の報告を、各委員よりいただいています。そこでは、実施報告に加え、来月の予定や懸案事項も話していただいています。

研修会などに参加した際は、簡単な報告書を会長に提出してもらっています。

所定様式には、参加した日付・事業名・内容・今後活かしていきたいことを記載するようになっています。

委員個々の懸案事項等がある時は、直接お話ししたり電話やメール、また簡単に紙に書いて会長まで出していただいたりしています。

各委員にあわせて連絡方法を考えますが、大切なのは会長も新任委員もお互いに「報告・連絡・相談」を心がけることだと思います。

③ 事例検討・意見交換

事例検討や意見交換は、委員同士のコミュニケーションや、委員個々の負担（課題）軽減、不安の解消など、委員活動を継続していくうえでは非常に大切な議題といえます。

特に、新任委員にとっては、全てのケースが困難事例とうつるかもしれません。委員の経験や相談・支援活動の習熟度に応じて、取り組み方法や困難か否かの判断は異なるかと思いますが、新任

委員の立場に立って、あらためて基本的な事例から一つずつ再確認していく時間を定期的に設けていきましょう。

取り扱う事例は、地区委員の実例や本紙掲載の架空事例等を活用してみてください。また、P15には、ひだまり創刊号でお配りした事例検討の手順（参考）を掲載しましたので参考にしてください。

委員同士で事例検討を行う場合もありますが、具体的なケースを検討する際は、地域包括支援センターの職員に来ていただいています。

専門職の方に来ていただくと、民生委員では対応できない場合の方法等、一緒に地域の課題を共有しながら取り組んでいけるので助かっています。

意見交換や事例検討を行った後は、班ごとに意見を（班の書記が）集約し正副会長に提出しています。

正副会長は、各班の意見に目を通し、検討項目や回答すべきことがあれば、必ず翌月の定例会冒頭で回答し、共通理解を深めるようにしています。

2 民生委員・児童委員 活動実態 調査結果

県民児協では、平成 23 年度に県内民生委員（※1：階層別）を対象とした「民生委員・児童委員活動実態調査」を実施しました。その中から、定例会に関する設問の集計結果（総計）をご紹介します。

なお、「1. 開催時期、1-2. 開催する週、2. 所要時間、3. 時間帯」は単位民児協会長（※2）のみへの設問、「4. 定例会で力を入れたいこと」は全対象者（※3）への設問となっています。

- ※1 階層別 : 単位民児協会長・中堅委員・新任委員・主任児童委員の4階層
- ※2 単位民児協会長 : 対象者 324、回収数 312、回収率 96.3%
- ※3 全対象者 : 対象者 1,545、回収数 1,484 件、回収率 96.1%

開催時期・週・所要時間・時間帯

定例会の開催時期は、あらかじめ週や曜日を設定している民児協が8割を超えています。（表1）

また、その中でもおよそ半数が「第2週」に開催しているという回答結果になっています。（表1-2）

定例会を開催する所要時間（表2）は、7割を超える地区が2時間前後開催しており、また6割以上の地区が午後から開催しているという結果になっています（表3）。

1. 定例会の開催時期

順位	選択肢	割合
1	第〇週の〇曜日	84.9%
2	特に定めていない	10.6%

1-2. 開催する週

順位	選択肢	割合
1	第2	53.6%
2	第1	27.9%
3	第3	12.1%
4	第4	3.0%

※「1. 定例会の開催時期」で「1. 第〇週の〇曜日」の回答者のみ、本設問を回答。

2. 所要時間

順位	選択肢	割合
1	1時間半～2時間	42.6%
2	2時間～2時間半	31.1%
3	1時間～1時間半	17.3%
4	2時間半以上	5.1%
5	1時間未満	1.6%

3. 時間帯

順位	選択肢	割合
1	午後	64.4%
2	午前	21.2%
3	17時以降	10.9%
4	特に定めなし	1.9%

定例会で力を入れたいこと

「定例会で、今後力を入れていった方がよいと思うこと」という設問では、右表4のとおり全体的に「話し合う場を持つこと」を重視していきたい意向がうかがえます。

なかでも特に多かったのは、「実践的な事例検討を行う」という回答が上位1・2位を占めています。

今後は、連絡・調整事項や依頼事項だけではなく、「委員同士が話し合う」ことに眼目を置いた協議題の設定を考えていく必要があるようです。

4. 今後定例会で力を入れていった方がよいと思うこと（複数回答・2つ）

順位	選択肢	割合
1	（委員同士で）実践的な事例検討を行う	48.8%
2	関係機関の職員や実践者を招き、意見交換やケース事例の検討を行う	38.3%
3	悩みや心配事を相談できる場作りを行う	23.5%
4	伝達事項だけでなく、独自の協議題も加える	18.9%
5	各種取り扱い方針の検討（活動記録・福祉票・状況報告・個人情報・金銭・政治活動等）	15.8%
6	各活動への取り組み方針や手段の検討	15.6%

※「民生委員・児童委員活動実態調査書」は、当会 HP (<http://www.chiba-minkyo.or.jp>) の「民生委員の部屋」に掲載しています。